

平成23年度一般会計補正予算説明資料

7款 商工費

2項 工鉦業費

2目 中小企業振興費

産業振興総室[新事業開拓室] (内線: 7657)

(単位: 千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
[債務負担行為] (新)鳥取県版クラウドサービス ビジネスモデル事業	0	(債務負担行為額) 20,000 20,338	(債務負担行為額) 20,000 20,338				(債務負担行為額) 20,000 20,338	
トータルコスト	0	22,734	22,734	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	0.3人	0.3人	補助金交付事務(補助金募集・審査会開催・交付)、セミナー開催に係る事務				
工程表の政策目標(指標)	情報産業の振興: 本県の情報産業戦略を構築するとともに、産業を支える高度人材の育成							
<p>説明</p> <p>1 事業の目的・概要</p> <p>「クラウドコンピューティング」を活用し、県内ICT企業が高付加価値なICTサービスを提供できるように育成するとともに、県内中小企業がそのサービスを活用して経営の高度化を図る。併せて県民も活用できるサービスにより、県民の利便性向上を図る。</p> <p>【補足】「クラウドコンピューティング」は自前でサーバー環境を所有せずデータセンターなどの仮想的なコンピュータ環境でデータを処理する。そのためユーザーはネットワーク端末と通信回線のみで利用でき、ユーザーにとってメリットが大きいと言われている。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) クラウドサービスビジネスモデル開発支援事業 (20,164千円)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>県内ICT企業によるクラウドコンピューティングを活用した新たなビジネスモデル構築を支援するため、新たな補助金を創設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「県内中小企業のあい路の解消」、「県民生活の不便さの解消」などのためのクラウドコンピューティングによるサービスを県内ICT企業が開発するとともに、開発したサービスについて県内を対象に実証実験を行い、サービスの改善を行う。</li> <li>・これにより完成されたクラウドサービスビジネスモデルにより、県内中小企業の経営の高度化、効率化又は県民の利便性の向上を図り、当該ビジネスモデルにより県外に打って出る県内ICT企業に対して補助金を交付する。</li> </ul> <p>【補助事業の概要】</p> <p>補助率: 2/3</p> <p>補助金: 10,000千円/件 (上限額)</p> <p>補助期間: 24ヶ月</p> <p>対象: 県内に本店(本社)をおく企業。または、鳥取県と企業進出協定を締結している企業で、県内で本補助事業を行う企業。</p> <p>審査経費: 164千円</p> </div> <p>(2) クラウドコンピューティング周知事業 (174千円)</p> <p>「クラウド」という言葉だけが流されており、「いまだ聞けない」「今だからこそ聞きたい」というクラウドコンピューティングの今後の潮流や活用について、意欲ある県内中小企業に参加してもらい、きっかけ作りをするためのセミナー等を県が開催する。</p> <p>3 これまでの取り組み状況、改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT企業の人材育成に対する支援⇒当初予算計上済[補助率: 1/3、上限額: 1,500千円]「当初予算: 打って出るICT産業振興事業」により、ICT業界の技術力強化のための補助制度創設済(平成22年度から社団法人鳥取県情報産業協会に交付し、人材育成事業を支援。)</li> <li>・県内ICT企業が開発⇒実証実験⇒結果検証⇒サービス改善によるクラウドサービスビジネスモデル事業を行い、県内ICT企業のビジネスモデルを確立する。</li> </ul>								